

# 施設概要

事業主体	: 小牧岩倉衛生組合
構成市	: 小牧市・岩倉市
施設名称	: 小牧岩倉衛生組合環境センター処分場
所在地	: 小牧市大字林1821番地3
総面積	: 162,734.05㎡(H18.4)
着工	: 平成7年12月
竣工	: 平成10年3月
埋立開始年月日	: 平成10年4月30日

## ● 埋立処分場

埋立地面積	: 24,500㎡(第1期)
埋立容量	: 293,900m <sup>3</sup> (第1期)
埋立構造	: 準好気性埋立
埋立工法	: サンドイッチ工法
埋立物	: 一般廃棄物(焼却灰、破碎不燃物、埋立ごみ)

## ● 浸出水処理施設

処理能力	: 100m <sup>3</sup> /日
調整槽容量	: 2,700m <sup>3</sup>
処理方法	: 接触ばつ気法・凝集沈殿処理法・砂ろ過処理法・活性炭吸着処理法・キレート樹脂吸着処理法

## ● 埋立処分場の特徴

当埋立処分場におけるしゃ水工のうち、浸出水との接触が多い底部分及び最下法面はしゃ水シートを厚さ10cm(15cm)のコンクリート(有筋)で挟み込むしゃ水構造とし、浸出水との接触が少ない一般法面は厚さ10cmの保護コンクリート(有筋)にしゃ水シートを敷設するしゃ水構造としています。いわば、埋立処分場が薄肉コンクリート容器であるといえます。このことは造成基盤面にしゃ水シートを敷設する従来のしゃ水構造と大きく異なる点であり、本埋立処分場の特徴でもあります。また、しゃ水シートの上にはしゃ光シートを敷設し、しゃ水シートの劣化を防止しています。

## ● 浸出水処理施設の特徴

当浸出水処理施設の放流先は下水道となっていますが、重金属除去をはじめ様々な高度処理フローが組み込まれていますので、直接放流しても全く問題の無い、環境保全を考えた万全の施設となっています。また、機械棟には管理・監視室、分析室などがあり、水質管理・監視がデータローガーを通じてスムーズに行える施設となっています。